

若者を取りまく依存症の現状 ～わたしたちにできること～

オンデマンド
配信します

若者を中心に薬物依存、特に市販薬への依存が社会問題になっています。
本研修では、生きづらさを抱える若者が助けを求められない背景や、生き延びるための市販薬依存・自傷行為等の行動を理解し、支援者としてできること等について学びます。

配信期間 令和8年2月24日(火)10時から 4月15日(水)17時まで

※本研修は、2月3日に開催した同研修を録画した動画をオンデマンド配信するものです。

● 講義「社会は本当に若者を応援しているのか ～市販薬乱用の臨床から考えたこと」(約82分)

講師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長

薬物依存症センター センター長

松本 俊彦 氏



市販薬のオーバードーズや自傷行為を繰り返す若者たちの支援、依存症とその背景にある生きづらさ等、多岐にわたるテーマで講演をされている松本先生からは、若者の依存症の現状、市販薬依存や自傷行為等の理解と支援についてお話いただきます。

● 体験談「本当は自分にもどうしようもなかった ～非行、シンナー乱用、リストカット、無数の根性焼き、 オーバードーズ、、、見過ごされた傷と痛み～」(約40分)

発表者：リカバリハウスいちご

渡邊 洋次郎 氏



万引きなどの非行やアルコール・薬物への依存から、精神科病院への入院や刑務所での服役の経験を経て、現在、依存症の回復施設で依存症の方の支援に携わっている渡邊さんからは、少年時代に感じていた生きづらさ、また依存症からの回復などの体験談をお話いただきます。

● 対談「若者にかかわる支援者に伝えたいこと」(約20分)

対象 ※相談対応の経験が概ね3年以上ある方が対象
保健所職員、市町村職員、その他相談支援に携わる関係機関職員
大阪府内の小学校・中学校、高等学校、支援学校、大学、専修・各種学校等教育機関の職員

申込 研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。

こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp/>

依存症対策研修 → 依存症相談対応・実践研修（A-2）

【オンデマンド研修】「若者を取りまく依存症の現状」



締切：4月10日（金）17時まで

同じ所属から複数名参加される場合も
必ずお一人ずつお申込みください

問合せ先

大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課 担当：引地・村谷

TEL：06-6691-2818

FAX：06-6691-2814

E-mail：kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp